

「出前講座」通信 No.3

春休みネット対策 ルールづくり編

低年齢化の傾向を意識して..

青少年を巻き込むネット問題の傾向は

- A ①～③の 犯罪群（加害者と被害者の関係）
- B ④の 疾病群（依存の傾向）

の二つに分けられると言えます。さらに共通して低年齢化の傾向がみえ、青少年の心と体の成長への影響が心配されます。保護者として、何から対応すべきか、子どもたちと一緒に学んでいきましょう。



子どもの常套句と春休み対策

春休みを控え、賑わいが予想される店舗にカラオケ店や携帯端末販売店他があります。そこで二つ

- ① 個人情報投稿に注意を！
 - ② フィルタリング義務の実行を！
- * 我が家の対策ポイントに加えましょう

進級や進学の開感が増し、気分が高揚する春休みから5月連休の季節、友だち同士の行動や誘い等から、**個人情報**をSNSに投稿してしまい、犯罪やトラブルに発展していくケースも出てきます。お子さんがスマホやゲーム機を持つての外出時は、使用目的等からも、指導にはもって来いの季節です。

また、携帯端末機購入前の約束が崩しとなり、**依存傾向になる子が身近に出てくる**のもこの頃。子どもの『みんなやってる！』とか『大丈夫だよ！』は子どもの常套句です。大人として、そして親として、『あなたを心配しているの！』と、そんな場面を想定した諭し方や、遊びの中での断り方・対応の仕方を我が子への対策として講じてあげましょう。

春休み前に、確認しておきましょう！

- ① ネット上の人には、会わない会わせない
- ② 安易な投稿、書きこみはしない
- ③ 知らない人とメールのやり取りはしない
- ④ フィルタリングを外さない

* ルールづくりの参考に裏面を

緊張感の(ONとOFF)

問われるのは大人社会のモラル

大人社会の姿に 希望をみせる！

社会の中で多くの大人は、上手に気持ちを切り替え、自己コントロールしながら生き抜いています。生き抜く知恵と困難を乗り越えてきた経験を持っています。



りんご畑のなかで ボランティア

時には、周囲の些細な言葉や行動やできごとにより傷ついたり、自己否定や拒絶をしたりする一方、地域で大人の地道な粘り強い行動に触発され、希望を見いだしたり励ましを支えにしたりして、困難や試練に向かっている一歩を踏み出し始めています。多感な青少年たちの支えとなる大人社会・地域社会の中で、自分達ができる行動を通して、子どもたちに希望のある社会を、伝えていきましょう。



SNSで性被害にあう少女の被害者の多くは、大人です。事件・報道を耳にするたび、子どもたちが悪いのでは決まてないこと、問われるべきは大人社会のモラルだと聞こえます。日頃の私たち自身の行動を見返してみましよう。

- ◆ インターネットはルールを学ばないと危険です。脇道にそれたり迷路に迷い込んだりします。
- ◆ インターネットの共通のルールは、大事な我が子と家族を、誘惑やワナから守ります。
- ◆ 適正な使い方を学び、豊かな感性・人間性を、日頃の親子関係からつくりましょう。



< スマホ時代の子育ては大変です >

内閣府・総務省ほか関係省庁などから、悩める保護者のためのQ&Aの最新版が先月発行されました。出前講座のなかでも似た質問が寄せられます。中から『子どもたちの生活リズム』を紹介しますので、ぜひご家族一緒に確認していただき参考にしてください。



< 悩める保護者のための Q&A >

Q 子どもがスマホゲームに熱中しすぎて、生活リズムをちゃんと守れるか心配です。

A 使用時間などをルール化して、生活リズムを守るよう促します。フィルタリングを始めとするペアレンタルコントロールを活用し、使用時間や利用環境を整えてあげましょう。保護者（ペアレント）は、日頃から、子どもによる機器の使用状況を正しく把握しておくことが大切です。使用状況の把握や、保護者のサポート機能として、ペアレンタルコントロールやフィルタリングを上手に活用しましょう。

保護者がしあげられること ペアレンタルコントロールの活用

ペアレンタルコントロールは、子どものスマートフォンやタブレット、ゲーム機の利用状況を、保護者が把握したり、安全管理を行ったりする仕組みです。プレイ時間の制限・調整、課金などの管理、ネットワーク利用の制限、年齢区分（レーティング）のチェック等を行うことが可能です。

1 OS事業者（Apple・Google等）が提供する、ペアレンタルコントロールのサービスを活用しましょう。

2 各ゲーム機にもペアレンタルコントロールのサービスがあります。各説明書やホームページなどで確認し、最初に設定しましょう。



アイフォンは、設定から「スクリーンタイム」でペア・コンしましょう。



アンドロイドは、「ファミリーリンク」のアプリからペア・コンしてみましょう。

保護者がしあげられること フィルタリングの活用

フィルタリングは、有害な情報やうっかりアクセスによるトラブルから、子どもを守る機能です。

1 販売店に「子どもが使用する場合がありますので、フィルタリングを使えるようにしたい」と伝えれば、設定してもらえます。

2 大人が利用する際は、フィルタリングの設定は簡単にオン・オフすることができます。保護者の機器を子どもに貸す場合、契約の切れた端末を子どもが使用する場合なども、フィルタリングを設定することが大切です。

